

経営比較分析表（令和4年度決算）

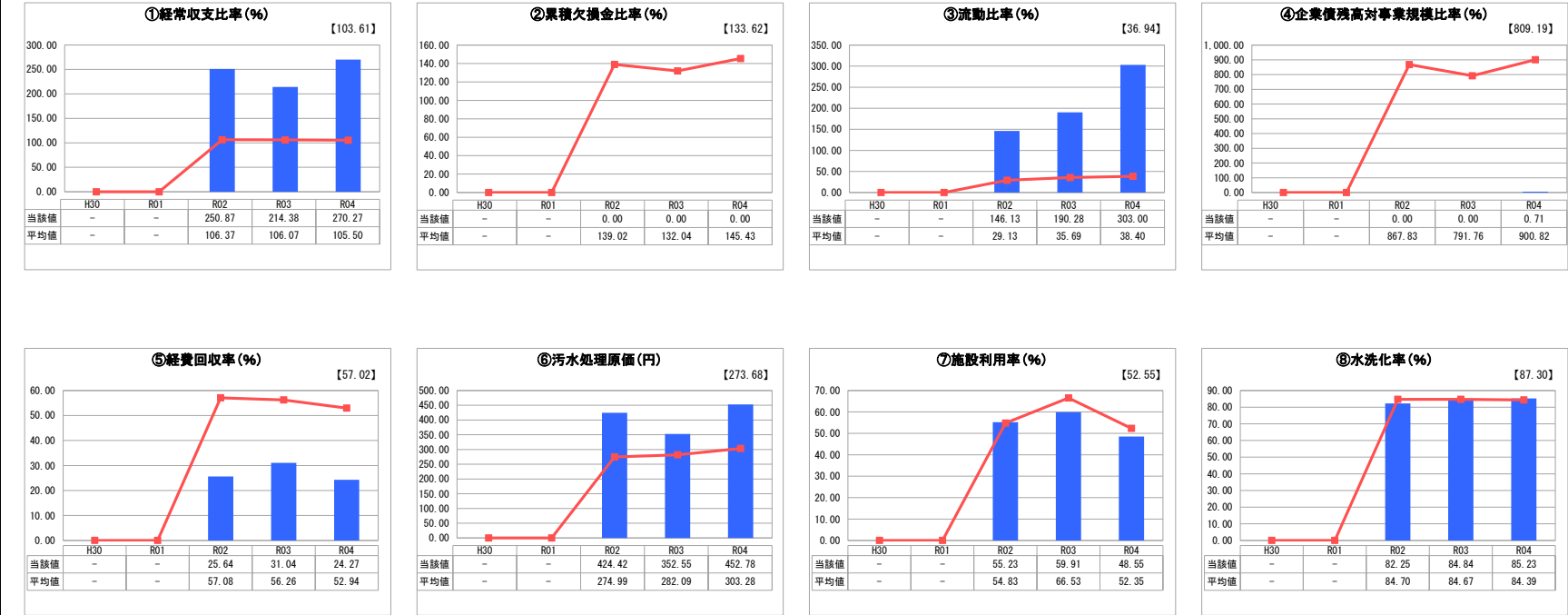
栃木県 佐野市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	53.31	0.87	101.48	2,200

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
115,088	356.04	323.24
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
995	0.54	1,842.59

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

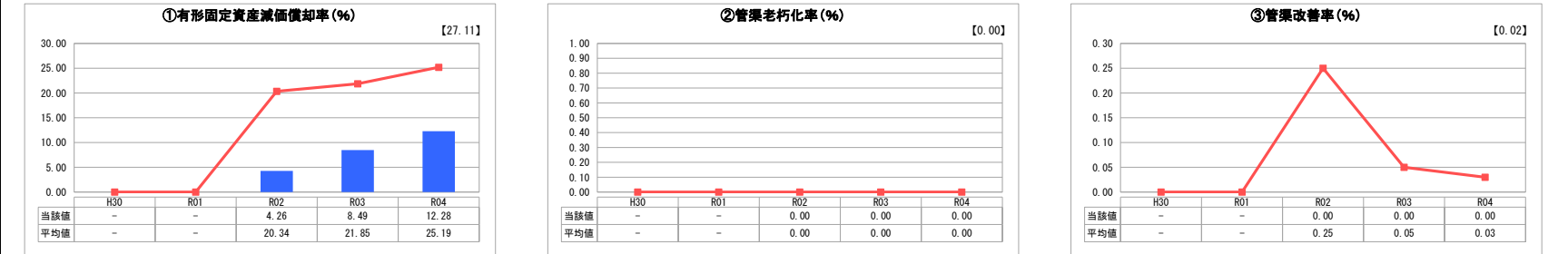


分析欄

1. 経営の健全性・効率性について
- ① 経常収支比率は、前年度に比べて増加している。これは主に一般会計からの繰入金等の増加によるものである。
- ② 累積欠損金比率は、存在していない。
- ③ 流動比率は、現金の増加により前年度比で増加している。
- ④ 企業債残高対事業規模比率は、更新工事を行っていないためほぼ存在していない。
- ⑤ 経費回収率は、前年度比で減少している。
- ⑥ 汚水処理原価は、1 m当たり約452円で、前年度より増加し、類似団体や全国平均より高い。
- ⑦ 施設利用率は、前年度より減少し、類似団体や全国平均よりやや低い。
- ⑧ 水洗化率は、前年度比で増加となり、類似団体よりやや高いが、全国平均よりはやや低い状況となっている。
- 経営の健全性・効率性は、①・③・⑧の指標からは比較的良好な状態を保っているが、⑤・⑥・⑦の指標では低い状況にある。

2. 老朽化の状況について
- ① 有形固定資産減価償却率は、毎年約4%ずつ増加しているため、類似団体や全国平均より増加の割合が大きい。
- ② 管渠老朽化率は全ての管渠が法定耐用年数内である。
- ③ 管渠改善率は管渠の更新等を行っていないため存在していない。

2. 老朽化の状況



全体総括

農業集落排水事業は、平成17年度に新規建設事業が終了しており、令和5年度末を目標に残り1地区について、既存の管渠を利用しつつ公共下水道に切り替える。維持・修繕費用の増加を抑制するとともに、更新費用の発生を抑えることが重要である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。